（別紙5）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ミリミリ大田（児童発達支援）

公表日　2026年　10月28日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	1	4	0	活動のスペースを作れる様に、環境整備に努めている。	長期休みは放デイの一緒になるので、スペースが狭く活動しずらい。との意見あり。整理整頓しながら安全に活動出来るように空間作りに努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	2	3	0		スタッフの休みが出て際は、他事業所にリリーフをお願いし対応する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0	5	0	0	毎日掃除を行い、汚れた際には都度掃除を行っている。	動ける子には狭い。放デイの子供は体が大きいので。との意見あり。整理整頓しながらを安全に活動出来るように空間作りに努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	0	3	1	1		必要に応じて個別のスペースを作るよう支援していくに。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2	1	1		ミーティングやSNS等を活用しながら、改善に取り組んでいけるよう努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	0	1		ミーティングやSNS等を活用し、スタッフ間で共有し意見交換し、改善にしているよう努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	0	1		面接時、ミーティング時に意見を募り改善点をを共有できるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	0	3		現在、外部評価は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	0	0	外部研修などの提示を行っている。	個々の職員の研修参加機会が十分ではないため、研修情報の共有や参加しやすい環境づくりに努め、職員の知識・技術の向上を図る。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	3	1	0	1		ホームページ上に掲載している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	0	1		ミーティング時、支援会議の場で個別支援計画の共有、見直しを行っている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	0	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	0	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	0	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	0	1		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	1	0		療育ミーティング、合同療育ミーティングを活用し療育スタッフが中心に円滑にプログラム作成に繋げて行けるように努める。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	0	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	0	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1	2	1		活動企画書の提示、必要事項についてはミーティング時、SNS等を活用し送迎に出ているスタッフにも共有できるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	1	3	1		変更点、気になる点は次の日の朝の打ち合わせ時やSNS等を活用しスタッフが確認できるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	3	0	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	0	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	0	3		必要に応じて参加している。参加した際には、スタッフに共有できるようにで伝達していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	0	1	4		主治医の指示書、事業所系列の訪問看護と連携し支援を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0	2	2		必要に応じて情報共有に努めていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	0	3		必要に応じて情報共有に努めていく。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。						
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	0	1	0	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	0	2	3		近隣の保育所や幼稚園との交流は行えていない。法人として地域のイベントを開催し交流を図る場の提供をしている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	0	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	1	0	4		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	0	2		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	5	0	0	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	0	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	0	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	0	2		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	0	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	0	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	0	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1	2	1		地域住民との交流の機会不足が課題であり、行事への招待や情報発信を通じて関係構築を図る必要がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3	1	0		ミーティング時に提示し説明を行い、訓練を定期的に行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	2	1	2		BCPの策定を行い、ミーティング時にスタッフへ提示し、定期的な訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	0	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	0	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2	0	2		定期的な避難訓練を実施している。事業所内、法人内でのミーティング時に研修を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	2	2	0	1		契約時、面談時に提示し説明を行っている。安全計画についてはホームページにも掲載している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	0	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	0	1		現在、身体拘束が必要な児はおらず、今後身体拘束が必要な児が利用される際は、個別支援計画に記載し保護者への説明を行っていく。

（別紙5）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ミリミリ大田（放課後等デイサービス）

公表日　2026 年　10月　28日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	1	4	1	活動のスペースを作れる様に、 環境整備に努めている。	長期休暇等、児発と放デイが一緒になると狭い。との意見あり。整理整頓をしながら安全に活動出来るように空間作りに努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	2	3	1		スタッフの休みが出た際は、他事業所にリリーフをお願いし対応する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0	6	0	0	毎日掃除を行い、汚れた際には 都度掃除を行っている。	動ける子には狭い。放デイの利用者さんは身体が大きいので。との意見あり。整理整頓をしながらら安全に活動出来るように空間作りに努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	4	1	1		必要に応じて個別のスペースを作るように支援していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	3	1	1		ミーティングやSNS等を活用しながら、改善に取り組んでいけるよう努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	0	1		ミーティングやSNS等を活用し、スッタフ間で共有し意見交換し、改善しているよう努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	0	1		面接時、ミーティング時に意見を募り改善点を共有できるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	0	3		現在、外部評価の実施はしていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	0	0	外部研修などの提示を行っている。	法人内の勉強会を年2回実施しているが、個々の研修はあまり実施できていない。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	0	2		ホームページに掲載している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	0	2		ミーティング時、支援会議の場で個別支援計画の共有、見直しを行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	0	1		支援会議の場で、意見交換を行っている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	0	0	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	0	3		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	0	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	1	1		療育ミーティング、合同療育ミーティングを活用し円滑に療育スタッフが中心にプログラム作成に繋げていけるように努める。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	0	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	0	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1	2	2		活動企画書の提示、必要事項についてはミーティング時、SNS等を活用し送迎に出ているスタッフにも共有出来るようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	1	3	2		変更点、気になる点は次の日の朝の打ち合わせ時やSNS等を活用しスタッフで共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	3	0	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	0	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2	2	0	2		地域との繋がりが薄いと思うとの意見あり。感染症の状況を確認しながら、地域との交流の機会を設けていけるように努める。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	0	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	0	0		必要に応じて参加している。参加した際には、スタッフに共有できるようにで伝達していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	0	1	5		主治医の指示書、事業所系列の訪問看護と連携し支援を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	0	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	0	2	3		必要に応じて情報共有に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	0	3		必要に応じて情報共有に努めていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	0	1	0	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	0	3	3		児童クラブ、児童館などとの交流は持てていないが、図書館での読み聞かせ会などに参加し、地域の子供達との交流の機会を設けている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	0	0	4	児童発達支援管理責任者、管理者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2	0	0		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	1	0	5		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	0	3		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	0	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0	0	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	0	2		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	0	0	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	0	2		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	0	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	0	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1	2	2		地域住民との交流の機会不足が課題であり、行事への招待や情報発信を通じて関係構築を図る必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	4	1	0		保護者には、契約時・面談時に提示し説明を行っている。スタッフには、ミーティング時に提示し説明を行い、訓練を定期的に実施している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	2	1	3		BCPと策定を行い、ミーティング時にスタッフへ提示し、定期的な避難訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	0	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	0	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2	0	3		定期的な避難訓練等を実施している。事業所内、法人内でのミーティング時に研修を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	2	2	0	2		契約時、面談時に提示し説明を行っている。安全計画についてはホームページにも掲載している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	0	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	0		

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	0	2		現在、身体拘束が必要な児はおらず、今後身体拘束が必要な児が利用される際は、個別支援計画に記載し保護者への説明を行っていく。